

特集

血液内科のご案内

骨髄では通常、約二千億個の赤血球、約一千億個の血小板、約六百万個の好中球が毎日作られています。一方でほぼ同数の血球が日々崩壊し、血球数は定常状態に保たれています。

血液内科では、白血病・悪性リンパ腫、多血症・血小板増多症のような造血器悪性腫瘍、各種の貧血、出血傾向を来す疾患（血小板減少や凝固因子低下）などの診療を行っています。

血液疾患は治療法が多様化しており、当院では最新のエビデンスに基づく治療法ならびに標準的化学療法を重視して治療法の選択肢を提示し、当院で実施可能な治療については出来る限り対応しています。当院で実施困難な治療については、他の医療機関（浜松医科大学医学部附属病院、浜松医療センター、聖隷浜松病院、磐田市立総合病院など血液疾患に対する治療環境の充実した基幹病院）へ紹介しています。

血液疾患の治療方針でお悩みの患者様がおられましたら、お気軽にご相談ください。ご紹介の際は、血液データ、健康診断の記録など、過去の経過が分かる資料を可能な範囲でご提供いただくと助かります。

※主な対象疾患

1) 造血器悪性腫瘍

急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍（慢性骨髄性白血病、真性多血症、本態性血小板血症、原発性骨髄線維症など）、急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、慢性リンパ性白血病など

2) 自己免疫疾患

特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血、後天性血友病など

3) その他（代謝性・栄養失調性疾患等）

ビタミン B12 欠乏性貧血（悪性貧血）、亜鉛欠乏性貧血、鉄欠乏性貧血（難治性）、膠様髄（低栄養骨髄）、薬剤起因性血球減少（薬剤性血小板減少、無顆粒球症など）、腎性貧血などなど

※70 歳未満の急性白血病、高悪性度悪性リンパ腫、血球貪食症候群（重症例）等、初見で鑑別診断が可能（疑い含む）かつ高強度の化学療法（根治治療）を必要とする疾患については、血液内科の基幹病院へ直接紹介して下さい。

※65～70 歳の造血器腫瘍性疾患（疑い含む）については、経過の緩やかな疾患に関しては対応可能な場合もありますので、紹介時にご相談ください。

当院のミールラウンドについて

当院管理栄養士は病棟担当制で栄養管理を行い、昼食時にはミールラウンドを実施しています。ミールラウンドとは、入院中のお食事をしている患者様のもとを訪れ、食事状況の観察をし、食事摂取量、食べ方、嗜好、ムセなどがないか評価し必要な栄養がしっかりとれているか確認することです。患者様の食事、栄養管理に関わる情報を知るうえではミールラウンドは欠かせません。また多職種と情報を共有し、患者様一人ひとりに合った食種、食形態、食事量など栄養計画を立て必要に応じて見直しを行います。入院患者様の食事摂取量の維持または向上に努め、栄養状態の改善に取り組んでいます。

ミールラウンドの状況について、詳しくお知りになりたい際には、お問い合わせくだされば、ご説明することができます。地域医療支援課あてにご連絡ください。

【 担当 ： 栄養管理科 管理栄養士 竹内奈津子 】

第26回 菊川市立総合病院・市立御前崎総合病院 合同カンファレンス開催のお知らせ

日 時 ： 令和7年10月22日（水）19時より

場 所 ： 菊川市立総合病院 2階 第1・2会議室

共 催 ： 菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院、小笠医師会、榛原医師会

診療実績

○診療実績

項 目		5月	6月
紹介患者数		290 人	288 人
逆紹介患者数		267 人	250 人
1日当り 患者数	入 院	186.7 人	195.0 人
	外 来	396.7 人	389.6 人
病床利用率		71.8 %	76.2 %
救急搬送件数		98 件	103 件

○受託検査実績

項 目	5月	6月
C T	33 件	62 件
M R I	37 件	35 件
超音波検査	15 件	16 件
その他検査	13 件	8 件

【 発 行 】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL：0537-35-2344 Eメール：renkei@kikugawa-hosp.jp

FAX：0537-35-2843 ホームページ：http://www.kikugawa-hosp.jp



©菊川